

2013年5月19日 山口県美祢市秋芳町秋吉台

特別天然記念物「秋吉台」を特別公開！ 昨年に引き続き開催！

大会開催

昨年に引き続き「秋吉台」で2回目のロゲイニングを開催しました。

昨年は初回の開催で申請手続きに長い時間を要し、広報期間が短くなって大会周知の遅れから行けなかったとの連絡もありました。今回は2度目の開催で、前回問題なく開催したという実績から、許認可担当の部署での調整がスムーズにゆき、比較的簡単に開催許可を戴くことが出来ました。

その分早めに広報が流せたことから参加者は、23組49名と昨年の倍に近い参加者となりました。

まして今年は、ここ数年なかったと年寄が口を揃えて言うくらい円滑に山焼きが実施されました。乾燥した草原は下草も残らないほどこんがりとし、しかも、飛び火の消火に必死になる程素晴らしい焼け、昨年、草の下に消えていた「踏み分け道」の全てが地表に明確に姿を表わしてくれました。

お蔭で急遽調査のやり直し！さらに公表の「山焼きエリア」全体に範囲を広げたので調査は大変でした。

大会当日の様子

なのに、準備中はあんなに好天気だった空模様が大会直前から急に下り坂、前日迄の天気予報では昼過ぎまで保つはずが夜明けからポツリポツリと涙目になってきて遂には明るくなるころには激しい降雨に・・・・・・。

受付場所の変更できませんが、開会式・競技説明の場所を、雨で客足の遅れた展望台に変更！ 作戦タイムでは2階からテレイン全体を見渡すことができました。そこに地元CATVがカメラ2台を持ち込み、選手達を録画、スタッフ共々撮影されました。雨の為参加者はカラフルなレインコートを着込んでのレースとなりましたがこれが逆に目について、撮影では高評価され、この日撮影された大会の様子は大会紹介の15分の特別番組として編集され、大会終了後のとある日、午後から1時間毎、延々8回も美祢市～山口市の有線放送のラインで放送されました。



開催地の紹介

本州西の端の山口県にある国定公園「秋吉台」はその全域が特別天然記念物に指定されています。過去、山口大学OLCが中心の大会が多く開催されてきました。山口県OL協会としても第1回西日本大会に始まり、山口インカレ、第30回全日本大会といった主要大会のテレインとして使用されてきたご当地の名門コースです。しかし、多くの環境庁主管の地域がそうであるように貴重なが故に規制が次第に厳しくなり、現在では草地へ立入る計画は全く認められなくなっています。私達は、この貴重なテレインを再び使用できるようにする芽を少しでも残すことを目的として全日本大会以降から、地元秋芳町観光協会に協力して、秋吉台の山焼き行事に協力してきました。

貴重な自然を守る一方で、現地では開発が進み、通過型の観光地となって滞在する観光客が激減。県立宿泊訓練所・町立の国民宿舎の廃止、グランドホテル、観光ホテル、プラザホテルと大型の宿泊施設が相次いで廃業、残ったロイヤルホテルも民事再生など宿泊施設では宿泊者の減少は観光産業の行く末を心細くしています。このような現地の状況から、全国規模で多くの参加者を呼び込む企画作りに、地元若者を中心に注目が集まっています。



秋吉台でのロゲイニング

企画の一つとして、オリエンテーリングに参画している私達が提案したのがこの大会です。まず「秋吉台」は国定公園として全国的に充分周知されています。後は法律上の規制の敷かれた範囲内でどこまでの使用が許されるか(?)でした。

2年前の秋、美祢市観光協会に依頼美祢市の観光振興、文化財保護などを所管する四つの課の課長級の方々に集まって貰いこの企画の提案と説明。開催に向け大筋で了解を得ました。OL経験者として、競技部門は受託してもあくまで地元運営主体は地元で受持ってもらわなくては意味がありません。

実行委員会を立上げ、委員長は美祢市長に、サブは観光協会会長にと提案しましたが、時期が悪く、丁度市長・市議会議員選挙と重なってしまい、状況から役員就任は困難となりました。

このため、私達が受持っている夜の山焼き「野火の祭典」の実行委員会にその役目をお願いしました。今年もその流れは引き継いでいます。

許認可組織との許可条件

「秋吉台」は国定公園であるがため域内での行事開催に対して、厳しい許可条件が課されています。何にも自然保護が最優先とされます。撤去後は、跡を残してはなりません。テント一つ許可なしには設置出来ません。そのため受付・計算センターは駐車場にワゴン車を止め、その中で実施、給水所は東屋の軒下を拝借しました。

更に、かつては、自由に設置できたコントロールが草原内に置けないのです。通常の大会のように地面に杭を打つ行為が許可されません。杭を打つことは自然破壊と自然保護団体からのクレームがあるからと、草原内に立ち入ってはならないとされているのです。このために、私達は、移動式のコントロールを製作しました。約45cm角の木板にコーンを置き、これにフラッグとユニットを固定したものを作成、遊歩道の横に置くといった方法で申請し、許可を貰うことにしました。しかし、草原では風の力はとても強く、対応にコーンウェイトを増やすと設置・撤去スタッフの負担は過大となりました。



運営のながれ

競技部門は山口県OL協会の会員で山焼行事に参加している方々を中心に、近隣のOLクラブが、人員や資材を提供し協力する形をとっています。核である山口県協会のメンバーは秋吉台のコースを維持するためにボランティアとして協力している有志で、担当する作業は「火道切り・迎え火打ち」を実施します。これは草刈り機の操作や、迎え火の点火などの危険な作業です。特にオリエンテーリングで鍛えた体力と判断力は全ての作業の中核部隊として重宝され、愛知での国際大会にも草刈り機持参でコース整備に遙々応援参加した実績も持っています。しかし、時には命を懸ける危険な作業のため、協会内で問題になり、現在は県協同行事から切離し、任意の活動としています。この組織が本大会の開催に伴い、実行委員会へ発展、合流しました。

トレイン紹介

国定公園としての秋吉台の草原の景観は毎年実施される山焼きによって維持されています。春、恒例の山焼きによって全ての草木は焼き尽くされ、新しい芽吹きから、その年の草原が造られます。つまり、この時期しか草原の全てを走ることは出来ません。国定公園の規定では遊歩道を外れて歩くことが出来ないようになっていたためです。行事としては更に同じブロックの九州の大会と重なってもいけません。特に先輩の「桜島(鹿兒島)」の企画とも調整が必要で、桜島のNPOの青木さんとも日程調整しました。同時期に始まった「フォトログ山口」とも同様に開催の相乗効果を期待していました。

私達の大会は今回2回目の開催であり、前回実績により許認可は非常に容易になりました。山口県、美祢市といった行政機関や教委、全日本・山口県オリエンテーリング協会や全日本ロゲイニング協会などの後援も問題なく戴けたことで美祢市関係の報道機関に大会の説明文と要項を一斉に配布、プレス発表を行い正式に開催宣言を実施。

「秋吉台」ではその中央を縦断する

「カルストロード」を使用したマラソン大会は実施されてはいますが、内側の特別天然記念物である国定公園の園地を縦横に走れる企画はこれ以外にはありません。

来年もまた同時期の開催を予定しています。今年参加出来なかった方々のチャレンジをお待ちします。

(福田良雄)

クラス別成績表

男子成人：

- ① 塩塚祐樹 (北虎会) 1,183点
- ② 渡里一裕 (下関市) 755点

男子シニア：

- ① 阿部昌隆(こんなもん大好き!) 1,175点
- ② 山口俊介 (S. フィニシヤ) 1,073点
- ③ 尾和 薫 (三河 OLC) 876点
- ④ 田代弘幸 (ひろ) 797点

女子シニア：

- ① 工藤美代子 他1名(勝手) 276点
- ② 篠原佳寿子 他2名(とき) 276点
- ③ 伊賀愛子 他1名(あい) 257点
- ④ 川本フジ子 他1名(好き) 257点

混合：

- ① 山崎麻里 他3名(おだむRUN) 885点
- ② 藤本恵美 他3名(やまちゃんず) 779点
- ③ 吉松三男 他3名(大好き秋吉台) DISQ

混合シニア：

- ① 佐久間千恵子他1(みずちゃんず) 662点

家族：

- ① 小野和美 他1名(キッツァン) 276点
- ② 小野晴義 他1名(なっつくん) 129点



更に2週間後開催の 山口県オリエンテーリング大会

2週間後の6月2日(日)には山口県山陽小野田市「江汐公園」を会場に山口県大会が開催され、先のロゲイニングの参加者・運営者の多くがこの大会の参加・運営とリピートの大会となりました。

ご丁寧に、この大会もまた雨！

「梅雨だから当然」とはいえ、今年の山口の大会は雨に祟られています。

トレイン紹介

この「江汐公園」も山口大学OLCのマップがあるトレインの一つです。

会場周辺はかつて炭鉱があり、昭和の終わる頃まで採掘がおこなわれていた地域で、トレインのいたるところに穴や凹地などが無数にあります。その開口部分は小さくても底の見えないようなものまであり、これ等は非常に危険と思われる場所もあり、通常このような場所はコントロールの設置候補としてはたいへん嬉しく、それも数多くてとても楽しいのですが、かえってコントロールの設置に悩む状況となっていました。

地図の中央にある池は、下流の宇部方面の水田に水を供給する農業用のため池、この池を掘るために多くの集落の住民が移転し掘削されそうです。満々と水をたたえた池の周囲は今では市民憩いの場となっています。

江汐公園はこの江汐池を囲むように位置します。公園として整備されているのは東南の中央部分でここから対岸に2本の橋と池を周回する道から構成されます。北東部は主に新緑の部分が多くこの季節は通行困難で大会開催の時期を間違った感がありました。参加の皆さんは、雨をものとせず、それなりに楽しんでくださったようです。

* 主なクラスの成績

MA：

- ① 半田太郎 (博多OLC)
- ② 新見和教 (緑外会)
- ③ 渡里一裕 (下関市)

M35A：

- ① 浅川民雄 (北九州OLC)

WA：

- ① 半田博子 (博多OLC)

W35A：

- ① 廣崎律子 (下関市)

W55A

吉岡康子 (OLC吉備路)